

野生動物SFTS感染状況調査

新 博司

福岡県環境部自然環境課 課長

「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）」は人獣共通感染症の一つで、主にSFTSウイルスを保有するマダニに刺咬されることで感染する。西日本を中心に感染者報告数が年々増加傾向にあり、本県においても死亡例が確認されている。SFTSウイルス感染拡大の要因の一つとして野生動物が考えられていることから、本県では、今年からシカ、イノシシを対象に感染状況を調査している。その概要を紹介する。